

○古物営業法の規定に基づく立入調査及び報告の要求に関する規程

(平成31年4月22日島根県公安委員会規程第1号)

(趣旨)

第1条 この公安委員会規程は、古物営業法（昭和24年法律第108号。以下「法」という。）第22条第1項及び第2項の規定に基づく立入調査（以下「立入調査」という。）並びに同条第3項の規定に基づく報告の要求（以下「報告の要求」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(立入調査及び報告の要求の基本)

第2条 立入調査及び報告の要求は、法の施行に必要な範囲内で行うものとし、職権を濫用し、又は正当に営業している者に対して過重な負担を課することがあってはならない。

(報告の要求の範囲)

第3条 報告の要求は、法の目的の範囲内で行う指導、監督等のため必要なものに限るものとする。

(立入職員の指定及び身分証明書の交付)

第4条 生活安全部長は、立入調査を適正かつ効果的に行うため、あらかじめ立入調査を行う職員を指定するものとする。

- 2 前項の指定は、古物営業法施行規則（平成7年国家公安委員会規則第10号）第20条の規定による身分証明書を交付して行うものとする。
- 3 第1項の規定は、指定を受けていない職員が立入調査を行う職員の補助のために立入調査に同行することを妨げるものではない。

(委任)

第5条 この公安委員会規程に定めるもののほか、立入調査及び報告の要求に関し必要な事項は、警察本部長が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この公安委員会規程は、平成31年5月1日から施行する。
(古物営業法の規定に基づく立入り等に関する規程の廃止)
- 2 古物営業法の規定に基づく立入り等に関する規程（平成15年島根県公安委員会規程第1号）は、廃止する。

附 則（令和3年10月27日島根県公安委員会規程第3号抄）

(施行期日)

- 1 この公安委員会規程は、令和4年1月4日から施行する。
(経過措置)
- 2 この公安委員会規程の施行の際現にこの規程による改正前の次に掲げる公安委員会規程の規定によりそれぞれ立入調査、立入り又は立入検査を行う職員に指定されている者は、この公安委員会規程の施行の日から令和7年1月3日までの間は、こ

の公安委員会規程による改正後の次に掲げる規程の規定によりそれぞれ立入調査、立入り又は立入検査を行う職員に指定されている者とみなす。

- (1) 古物営業法の規定に基づく立入調査及び報告の要求に関する規程第4条第1項
- (2)～(5) 〔略〕